

「ゆーすぴあボランティア塾」（応用編）

★事業の概要★

事業のねらい

1. ボランティア活動を行う上で必要な知識・技術について講義、演習、実習をとおして習得する。
2. 青年が、様々な世代との関わりをとおして生き抜く力を身につける。

期 日

平成26年9月13日(土) ～ 9月14日(日)

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

高校生以上でボランティア活動に興味関心のある方

参加者数：参加募集人数

15名：20名

講 師

国立大雪青少年交流の家職員

日 程

		1300	1330	1500	2000	2200
9/13 (土)		12:20～ 受付	開 会 式	①活動交流	②合意形成 (調理活動・夕食を含む)	休憩 入浴 就寝
7:15 7:30 9:00		1200	1300	1400 14:30		
9/14 (日)	つ ど い 朝 食	③野外教育プログラム基礎	昼 食	④ 成 果 と 課 題 閉 会 式	14:30 解 散	

★プログラム紹介★



「活動交流」

自分が感じているボランティア活動の魅力と、今後取り組んでみたい活動について、参加者同士で情報交流を行った。



「合意形成」～基礎学習～

新しい公共の考え方と、住民参画時代における合意形成の重要性について、講義形式で学んだ。



「合意形成」～体験活動をととして学ぶ～

チームワークを高めたり、当事者意識を醸成したりする、合意形成の良さについて、身近な調理活動をととして学んだ。



「野外教育プログラム基礎」

グループごとに、合意形成を大切にしながら、交流の家周辺において、自然観察活動を行った。



「成果と課題」

二日間の研修を踏まえ、各自が今後取り組むボランティア活動について、目標や留意したいことを考えた。

企画・運営のポイント

テーマを「合意形成」に絞り、各活動の中で常に意識化できるように、それぞれのプログラムのつながりを確認する時間やまとめの時間を大切にして研修を進めた。

参加者同士の交流や関係づくりが促進されるよう、体験活動を多く取り入れ、互いに学び合うプログラム構成とした。

事業を終えて(成果と課題)

事後アンケートでは、全体の満足度を全員が「満足」と回答し、ボランティア活動への意欲を高め、ネットワークをつくる機会となったことが伺えた。

道内にある青少年教育施設の登録ボランティアへも参加を奨励し、札幌方面の大学生にも研修の機会を提供することができた。

今後の方向性

参加者同士が今後も交流を継続し、仲間を増やしていけるネットワークづくりができるよう、活動機会の提供も含め支援する。

教員を目指す教育大生に対しては、特に重点的な広報を行う。